

見つけよう「ならやま」の昆虫たち

ならやまには、たくさんの昆虫がいます。日々の居場所(いばしょ)と、いとなみ(営み)があります。命(いのち)をつなぐために食べ物を求めて活動し、天敵(てんてき=おそってくる野鳥や昆虫)に見つからないような工夫をしています。子孫(しそん)を残すことも大切ないとなみです。これらのことからできるだけわかりやすく解説(かいせつ)します。今まで何気(なにげ)なく見ていた昆虫が、興味(きょうみ)ふかく眺め(ながめ)られるようになり、可愛(かわいい)く、いとおしくなるでしょう。








目 次

ならやまの昆虫のいとなみ

1	昆虫のおとなと子ども	-----	1
◆	完全変態(かんぜんへんたい)と不完全変態(ふかんぜんへんたい)とは	-----	1
2	なにを食べているの	-----	4
◆	植物・動物・いろいろ	-----	4
3	こんなところにもいるよ	-----	9
◆	土の中・水の中・空中に	-----	9
4	身の守り方さまざま	-----	1 1
◆	逃げるが一番	-----	1 1
◆	まるで忍者(にんじゃ)のよう	-----	1 1
	擬態(ぎたい=まねる)・擬死(ぎし=死んだふり)	-----	1 1
	保護色(ほごしょく=色でくらます)・おそろしい姿(すがた)で驚かす	-----	1 3
◆	いろいろな保身術(ほしんじゅつ)	-----	1 4
	高温ガス・くさいにおい・毒針(どくしん)・毒毛(どくもう)	-----	1 4
5	鳴くのはオスとメスのどちら	-----	1 5
6	どのように冬を越(こ)すのだろう	-----	1 7
7	はてな???	-----	1 8
8	まめ知識=料理に使う昆虫もいるよ	-----	2 0

ならやまの四季の昆虫

	春	-----	2 1
◆	早春 越冬(えっとう)していた成虫が、まっさきに姿を見せます	-----	2 1
◆	春たけなわのころ、チョウ、ハナカミキリ、ハムシなど、水辺にはトンボなど	-----	2 4
◆	晩春(ばんしゅん)には、美しいベニカミキリ、ヒメクロオトシブミなど	---	2 6
	夏	-----	2 7
◆	初夏には、サラサヤンマ、クワの木にはクワコ(ガ)の幼虫など次々に	-----	2 7
◆	真夏に近づくころ、真夏そして晩夏へ	-----	2 9
	カブトムシ、ミヤマクワガタ、タマムシなど大スターたち	-----	3 0
	イチモンジセセリ、いろいろなセミ類、キリギリス類、バッタ類など次々に	-----	3 1
	秋	-----	3 6
◆	初秋と中秋は、鳴く虫と赤とんぼ類の季節、田んぼにはコバネイナゴ	-----	3 6
	花にはチョウのツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、アサギマダラも	--	3 7
◆	晩秋(ばんしゅう)には、チョウのアカタテハ、ウラギンシジミなど	-----	3 8
	冬	-----	3 9
◆	初冬(しよとう)には、林の中はクロスジフユエダシャクなど	-----	3 9
◆	真冬には	-----	3 9
	朽ち木の中でオオオサムシ、ウバタマコメツキなど冬籠もり(ふゆごもり)	-----	3 9
	めずらしい昆虫たち	-----	4 1